

厚生院アンケート結果

2021年9月28日

1. 調査の目的

多くの市民が知らない間に、機能見直しの一環で名古屋市厚生院の特別養護老人ホームを廃止する動きがすすみ、すでに今年1月から新規入所を中止している。

名古屋市厚生院は、市内で唯一の公設公営の特別養護老人ホームであり、かつ、同一の建物内に附属病院、救護施設が併設され、医療・介護・福祉サービスを一体的に切れ目なく提供する全国でも他に例のない施設として運営されている。

そして実際、名古屋市厚生院の特養は、「身元引受人のいない人」を21.0%（民間特養の20倍）、「生活保護受給者」を26.3%（民間特養の5.6倍）も引き受けている。医療的ケアが必要な要介護者や身寄りの無い一人暮らし高齢者は今後も増え続けることが予想され、こうした状況に対応する機能を持っている厚生院をむしろ充実することが安心して高齢期を暮らすうえで切実に求められている。

こうしたことから、私たちは「名古屋市厚生院を守る会」を発足することを決め、運動を始めることになった。

そこで、市内の居宅介護支援事業所、いきいき支援センターのケアマネジャーから、名古屋市厚生院の廃止計画の認知度、廃止についての思い、厚生院への期待などを尋ね、今後の運動に生かすことを目的にアンケートを実施した。

その結果は、アンケートをお願いした私たちの予想を超えるものであった。

多くのケアマネジャーさんたちが医療ケアや困難事例を抱える高齢者の対応に苦慮しつつ、利用経験の「有る」「無し」にかかわらず、厚生院及びその持っている機能に対して熱い期待を寄せている。

また、行政に対して、「現場の実情をもっと知って欲しい」という気持ちが渦巻いていることも読み取れる結果となった。

2. 調査の対象

名古屋市内の居宅介護支援事業所（835施設、いきいき支援センター45施設）のうちFAX送信ができた765施設

3. 調査の方法と期間

FAXにより2021年9月10日（金）送付、FAX又はネットでの返信を依頼した。

調査期間は、2021年9月10日（金）～9月25日（土）

4. 調査票

（別紙）

5. 回収数・回収率

回収数は9月25日現在、133事業者
(回収率は17.4%)

回答133のうち、大半(130)が
居宅介護支援事業所であり、いきいき支
援センターからの回答はわずか3事業所
だった。

区別の内訳は<表①>のとおり。

表①アンケートの区別回収数

	回答数		回答数		回答数
千種区	12	昭和区	7	守山区	14
東区	3	瑞穂区	9	緑区	13
北区	15	熱田区	4	名東区	8
西区	11	中川区	8	天白区	8
中村区	4	港区	5	合計	133
中区	3	南区	9		

6. 結果の概要

(1) 厚生院の認知度と廃止計画の認知度

厚生院特養を知っているかどうかを尋ねたところ、85.0%が知っているとの回答
だった。この認知度の傾向は区別にみても
余り変わらない。

一方、その廃止計画については、逆に
「知っていた」との回答は34.2%に過ぎ
ず、「知らなかった」とする回答が68.4%
と3分の2を超えた。

表②廃止計画を「知っていた」区別割合

	認知度		認知度		認知度
千種区	45.5%	昭和区	14.3%	守山区	0.0%
東区	66.7%	瑞穂区	44.4%	緑区	25.0%
北区	33.3%	熱田区	0.0%	名東区	87.5%
西区	27.3%	中川区	25.0%	天白区	37.5%
中村区	25.0%	港区	20.0%	合計	34.2%
中区	33.3%	南区	22.2%		

この傾向は、区別で0%から87.5%と、かなり違いがあり、厚生院に身近な区では
認知度が高いことが分かった。<表②>

(2) 厚生院特養の利用の有無

事業所のケアマネジャーが利用者を厚
生院特養に紹介するなど、利用し、入所
した経験があるかどうかを尋ねたところ、
経験が「あった」のは40事業所(30.1%)
だった。区別に比率を見ると、<表③>
のとおり。

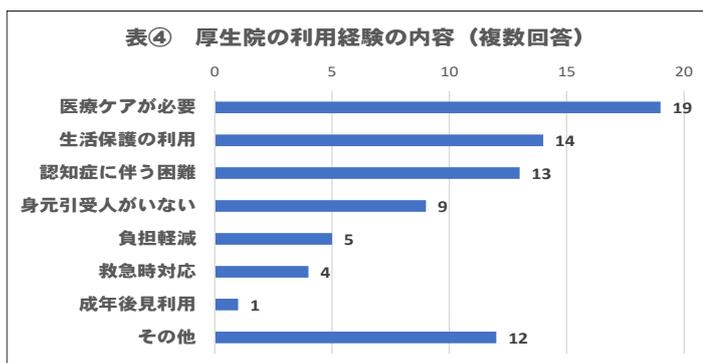
表③厚生院の利用経験が「あった」区別割合

	経験		経験		経験
千種区	50.0%	昭和区	42.9%	守山区	28.6%
東区	33.3%	瑞穂区	22.2%	緑区	46.2%
北区	13.3%	熱田区	0.0%	名東区	37.5%
西区	9.1%	中川区	12.5%	天白区	37.5%
中村区	25.0%	港区	40.0%	合計	30.1%
中区	33.3%	南区	44.4%		

入所経験があった場合に、どのようなケースかを尋ねた(複数回答)。<表④>

選択肢が多かった順にすると、
次のようになった。

医療ケアが必要19> 生活保護
の利用14> 認知症に伴う困難13
> 身元引受人がない9> 負
担軽減5> 救急時対応4> 成
年後見利用1

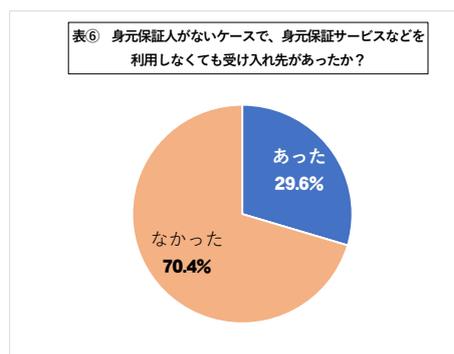


年後見利用1

なお、「その他」とする回答は12件で、「虐待事例」（複数）「自宅での介護が限界」「老々介護」などであった。

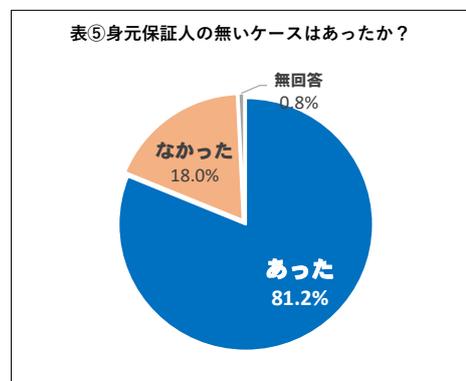
（3）身元保証人について

身元保証人がないケースがあったかどうかを尋ねたところ、「あった」とする回答が 108 件（81.2 %）に達することが分かった。<表⑤>



そのうち、身元保証サービスや成年後見制度を利用しなくても受け入

れ先があったのは 32 件（29.6 %）に過ぎず、そのうち 14 件（43.8 %）は厚生院特養が受け入れていることが分かった。<表⑥>



つまり、独居や家庭事情などにより身元引受人が無いケースではおよそ7割が今でも身元保証サービスなどに頼っているわけで、厚生院特養が廃止されれば事態がより深刻になることは目に見えている。また、身元保証サービスを利用するには相当の費用がかかり、低収入の高齢者や家族がその費用を負担できなかった場合の解決の道筋はなかなか見えない。

なお、受け入れ先の回答の設定は、「厚生院」か「それ以外の特養」かの2者択一にしたが、「住宅型有料老人ホーム」など、特養以外の施設をわざわざ明記した回答がいくつか見受けられた。厚生院特養のような多床室特養よりもさらに「安上がり」な、そしてその分、安全安心を犠牲にしている「有料老人ホーム」も存在している。

愛知社保協が4月10日に名古屋市に行った要請に対する回答で、市は「市内の居宅介護支援事業所に行ったアンケートでは『身元引受人がない』等といった理由で特別養護老人ホームの入所先に困るといった回答は見受けられず」としている。

しかし、この回答は本当に妥当なのか？ アンケートの回答結果は、多くのケアマネジャーがこの問題で苦慮していることが分かった。

（4）生活保護の利用について

生活保護利用者の入所先の経験があったかどうかの質問では、109件（82.0%）が「あった」としている。そのうち、厚生院特養を利用したのは14件（12.8%）であった。ここでも、それ以外のところで、わざわざ「有料老人ホーム」などと記入している回答がかなりあった。

(5) 入所施設確保で困ったこと（自由記載）……全文「別紙」参照

名古屋市が、「厚生院が担ってきたセーフティネットの機能は民間の施設でも担っていると認識」（名古屋市の文書回答）し、特養廃止を含め、現在の機能を大幅に縮小し再編しようとしているのに対して、身元引受人問題、医療ケアが必要な人、認知症に伴う困難を抱えている人たちが、安心して安全に過ごせる入所先があるのか、自由意見の記載を求めた。

そこには例示（認知症に伴う困難、医療ケアの必要、身元保証、生活保護、緊急時の対応、低収入など）した事柄をはじめ、多くのケアマネジャーの現場からの声がかかれている。こうした声に名古屋市は誠実に向き合い、応えるべきだ。

とりわけ、多くのケアマネジャーが困難に感じているのは生活保護に至らない、あるいは生活保護を拒否するようないわゆる「ボーダーライン」にいる低収入の介護が必要な人の行き先探しだ。そしてこうした人たちは入所先が見つからないがゆえに結局、在宅生活を強いられているケースが多く指摘されている。社会の表舞台になかなか見えてこない、こうした人々とケアマネジャーさんは日々向き合い、苦悩しつつも前向きに事態改善のために働いている。

そして、厚生院はこうした困難事例をこそ、恐れず、すくい上げる「セーフティネットの機能」を立派に果たしていることが分かる。

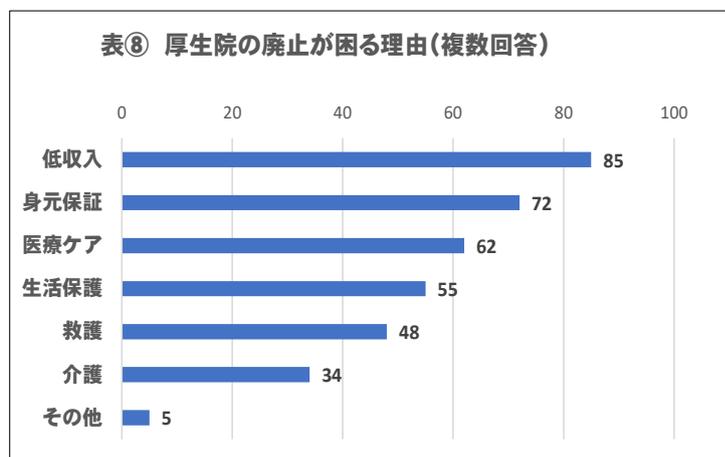
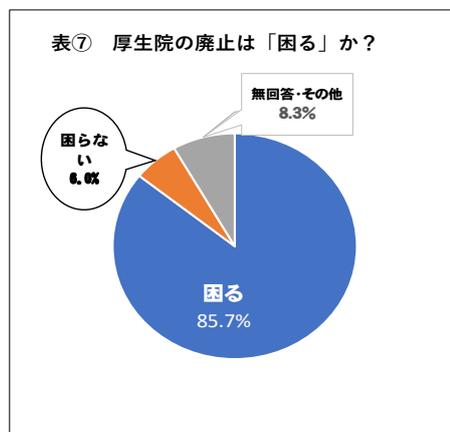
(6) 厚生院特養の廃止の是非

厚生院特養の廃止について、「困る」との回答は、114件（85.7%）になった。〈表⑦〉

無回答（7）や、「分からない」などのその他の回答（4）を除くと、93.4%に達する。

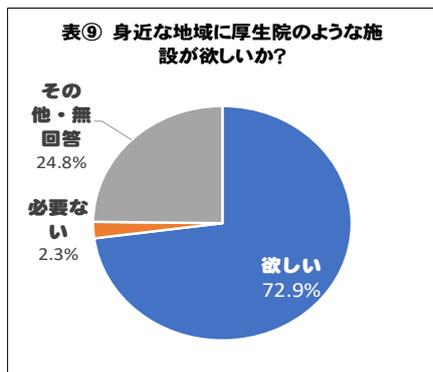
具体的に、6つの選択肢を掲げて「廃止で困ること」について尋ねた（複数回答）。

多い順にすると、次のとおりである。〈表⑧〉



低収入 85 > 身元保証 72 >
医療ケア 62 > 生活保護 55 >
救護 48 > 介護 34

「その他」は、「虐待・困難事例」「緊急保護先」「ショートステイ」「入院先の減少」などであった。



名古屋市が進める動きとは、真逆の方向になるが、「厚生院のような施設をあなたの地域にもつくって欲しいか」を尋ねた。

それに対して、「望んでも無理」とする回答がある一方、「欲しい」とする回答は全体の 72.9 % (97 件) に及んだ。<表⑨>

(7) その他、名古屋市への要望（自由記入）……全文「別紙」参照

「ケアマネジャーは見た！」……名古屋市への要望に多くの意見が寄せられた。名古屋市の行政当局に対しては、ずばり、「現状を見ていただきたいと思います」など、まずは実情をみつめ、市民の暮らしを守る姿勢を求める声で溢れている。

行政が示す「地域包括ケアシステム」構想などでは、在宅での療養や介護を高齢者や家族の望みであるかのごとき描き方がされているが、実際には受け入れてくれる施設が無いがゆえに、「やむを得ず」在宅療養、介護に追い込まれている人たちがいることを指摘する意見もあった。

また、厚生院を知っているケアマネジャーからは感謝と励ましの声が多く寄せられ、廃止には「断固反対！」という意見が多数寄せられた。

そして、さらに進んで、「介護負担が増えても低所得者が安心して入れる特養を地域に増やして欲しい」という意見も多く寄せられている。

これらの声が示している方向は、厚生院こそ名古屋市の福祉の心を具体化した「宝物」であること、この宝物を無くすのではなく、むしろ増やす方向に舵を切るべきだということではなかろうか。在宅介護が充実するためには、医療や施設介護が充実し、両者がお互いに支え合うシステムが欠かせない。

名古屋市は国の新自由主義的政策に追従し、「民でできるものは、できるだけ民で」という基本姿勢を持ち続けており、厚生院廃止の動きもその一環と思われる。しかし、実は民間の力を十分に生かすためにも、「公設公営」施設が必要なのではないか。

名古屋市は、寄せられている多くの「民」の声に真摯に耳を傾け、応えるべきである。

以上

区	⑤入所先の困難事例（自由記入）
千種区	希望のエリアになく、満床。低収入。認知症の悪化。
千種区	緊急性、金銭問題、家族対応。
千種区	医療ケア。生保にかからない程度の低収入。借金返済中etc……
千種区	身元保証のない方の入所受入が難しい。
千種区	何かアクシデント、イベントが起きた時にケアマネだけの介入または責任は難しい。
千種区	徘徊のある認知の認知症の方の受け入れ先がなく困った。
千種区	医療ケアのため受け入れが難しいと言われる。
千種区	特養等は看護職員が常駐していないため入所できない人がいる。有料（老人ホーム）はかなり高額。
千種区	低収入！
千種区	認知症（徘徊）、医療ケア、低収入。
千種区	医療ケアのできる施設が少なく利用料金が高額で支払いができない人。生活保護にはぎりぎりなれず、身元保証はとてつけれない経済状態の人。自宅で介護することになったが、家族から虐待を受けた。
東区	生保にならないギリギリの低収入の方の受け入れ先がなく、身元保証もなかなか受けてもらえず行き先に困る。
東区	老老介護で介護者ともに認知症。介護力がなく入手もなかなか決まらない。
北区	身元保証、生活保護、低収入。
北区	身元保証 多床室の特養の少なさ。
北区	特養の空きがなくショートステイを繋いだ。
北区	身寄りのない人、低収入などで入手先が探せない。
北区	年金は少ないが持ち家で保護が受けられない方。 他害行為がある方。
北区	認知症、医療ケア、収入
北区	費用面。夫婦の場合、1人が入所してしまうと残りの方の生活が難しくなるので入所を諦めるしかないことがある。
北区	認知症に伴う困難、医療ケアの必要、生活保護、緊急時の対応、低収入。
北区	医療ケア、低収入、近くで空きがない。
北区	医療ケアの方
北区	身元保証、緊急時の対応。
北区	低収入で行き先がない。医療ケアが必要で行き先がない、など。
西区	生保でない低収入の方の選択肢が少ない。
西区	身元保証人がいない。緊急入所ができるところ。低収入で介護度が低い方。
西区	認知症状の悪化や医療ケアが必要で近隣の方に迷惑をかけ、在宅生活が困難だが、入所施設が確保できず困った。
西区	低収入、医療ケア、身元保証、緊急時の対応。

西区	身元保証人のいない方の入所には身元保証から始めるので時間がかかり、その間の生活が困る。
西区	身元保証、緊急時の対応。
西区	低収入かつ緊急性が高いケースは居場所の確保に困ります。
西区	医療ケアが必要（ショートステイがある）
中村区	食事介助が必要な人、介護拒否がある人だけが入所待機になっている。その他の人は入所が早い。
中村区	徘徊、暴力など（認知症に伴う対応困難）。 酸素を必要、経鼻栄養（医療ケアの対応困難）。 身元保証。
中村区	低収入、身元保証
昭和区	身元保証の NPO 法人が必要でないサービスまで勧める場合があるので、同席して必要なサービスのみ契約していただいた。
昭和区	低収入
昭和区	（厚生院の）施設と病院が連携してくださり、難病を患うご利用者様でしたので大変助かりました。最期まで在宅が続けられたのは厚生院さんのおかげだと思っています。
昭和区	医療ケアの必要、身元保証、低収入。この3つに加え、家族が病弱でなかなか動けない等。
瑞穂区	認知症状の進行に伴い在宅介護負担が増え、家人のストレスが多いが、収入額の少なさから入所を選択できないでいる。
瑞穂区	希望する金額で入れる施設がなかった。
瑞穂区	必要度の高い人から受け入れると言いつつも、手間のかかる大変な利用者（暴言・暴力など）は施設から避けられている印象あり。
瑞穂区	生保、身元引受人がいないケースでも今まで厚生院は柔軟に対応してくれて、とても助かっていました。相談支援係のOさんは本当に良くやってくれました。
瑞穂区	生活保護、セクハラを伴う認知症利用者、身元保証。
瑞穂区	身元保証、低収入
熱田区	医療ケアの必要があった方。 低収入の方。
熱田区	認知症とコミュニケーション困難で他県（兵庫県）の特養に入所。
中川区	医療ケアの対応。 家族等保証人がいない。 低所得者。
中川区	独居の方で親族が無く身元保証を求められること。 施設以外でも病院へ入院の時もある。
中川区	医療依存度の高い利用者や身寄りがない場合。
中川区	認知症に伴う困難、身元保証、緊急時の対応、低収入など……

中川区	認知症に伴う困難（暴力、暴言、徘徊）。 低収入で利用料の支払いができない等。
中川区	生活保護には該当しないが、施設費用が捻出できない人の入手先。
中川区	低収入であったこと。緊急時の対応と医療ケアの必要な方。
港区	感情失禁のある認知症の方。 低収入（生活保護ではなくギリギリ）の方。
港区	認知症、医療ケアの必要、低収入など
港区	認々老々介護の夫婦、子供なく兄弟は高齢で遠方で協力は難しい。 夫が妻に対し放任の虐待もあり、（厚生院に）相談させていただきロングショートから入所となったケースがある。
港区	生活保護で身元保証を利用していないケース。
港区	生活保護にはならないが、低収入、預金もほとんどなく、身寄りもなく、もしくは疎遠にて身元保証人がいない人の入所について。
南区	生活困窮者で医療的ケアが必須な方で（他の）特養に医療面で受け入れを断られた。 （それで）困っている時、厚生院に入所させて貰えた。
南区	認知症に伴う困難、身元保証、生活保護、緊急時の対応、低収入
南区	生活保護受給者においては入所施設を確保しやすいが、生活保護の対象ではない生活困窮者のケースで経済的な理由から入所確保をできないことが多い。
南区	費用面で入所を断念する。
南区	生活保護でもなく境界線の方は行き先がなくて困ります。
守山区	身元保証人の急な死去
守山区	身元（保証が無い）、生活保護の方は入れない印象が強い。実際、待機が多くサービス付きホームに入るが、お小遣いがない等、悲しい結果。
守山区	低収入
守山区	医療的ケア（痰吸引）、身元保証（独居、低収入）、緊急時対応（家族が障害あり）。
守山区	今のところありません。今後は困ることが出ると思いますが…
守山区	医療ケアの必要があったため。
守山区	家族がいない、低所得者でも入れるところがない
守山区	障害者で生活保護
緑区	特養に入れる介護度のない方で、低収入の方の入所施設を捜すのに苦労します。身元保証人がいなくて身元保証サービスを使うお金のない方は更に困ります。
緑区	緊急時に対応していただけたところは厚生院が一番と聞いている。
緑区	身元保証人がいないので入所先がない。 医療ケアが必要で低収入。 セクハラの対応。
緑区	生活保護含む低収入者の受け入れ先の確保に苦慮。 生活保護者の受け入れ施設の条件が合わず、かつ身元保証の必要があり、調整に苦慮。

緑区	認知症による徘徊を理由として断られた。
緑区	医療ケア、身元保証
緑区	身元保証を求められること。成年後見制度と自費で対応が可能と思われます。
緑区	生保、低収入、身元保証
緑区	家族の介護放棄。
緑区	結果的には入所に至らなかったケースですが、緊急でどこも空きがなく相談させていただいたことがあります。最後の砦みたいな感じでしたね、あの頃は……
名東区	服用中の薬の種類により老健に入所できなかった。歩行ができて認知症が重いとグループホームを勧められるが、低所得で入居できない。
名東区	現在、有料老人ホーム併設の居宅支援事業所なので困難事例はありません。
名東区	家族がいても介護力がないケース。
名東区	医療ケアの必要、低収入。
名東区	緊急時の医療について、そもそも延命治療を望むのか否か、救急車の同乗はどうか、手術等の書類のサインは誰がするか？ 入院時の必要物品、消耗品購入は誰がするのか etc……
天白区	認知症に伴う困難、身元保証、低収入
天白区	身寄りがなく、結婚歴もないが、内縁の女性の元にいる男性が若いうちから糖尿病と脳梗塞後遺症で半身不随で片足も膝下から切断。大腸がん（肝臓等に転移）でストマ装着で透析も行っているが収入がなく、生活保護も受けられない状態。医療ニーズが高く、入所できる場所がない現状。
天白区	身元保証
天白区	現状、身元保証人がいないことで確保困難。特に虐待困難事例。
天白区	認知症に伴う困難、医療ケアの必要、身元保証、生活保護、緊急時の対応も住宅型有料老人ホームで間に合うが、枠が限られているので入りにくい。
天白区	低所得・生活保護だけ、認知症だけ、身元保証人不在だけ、など課題が単独ならなんとかなるが、重複している場合は施設探しが非常に困難。
天白区	経管栄養、吸痰、気管切開などの医療ケア。家族不在（身元保証、入院、認知症等で意思決定困難、含む緊急時対応）。低収入（生保拒否）。
天白区	身元保証、緊急時の対応。

区	⑦その他、名古屋市への要望など（自由記入）
千種区	医療の必要が高い方の受け入れ先が少なく、家族のレスパイト先が少なく、困ることが多いので厚生院は必要です。かつ、同様の施設を増やしていただきたい。
千種区	厚生院は家屋は古いですが、いつも掃除されていて、とても綺麗でした。手厚い看護、介護でとても助かりました。こういう施設は絶対必要です。
千種区	生活保護受給者で施設に入り、身元保証の料金を払うことで困っている方がたくさんおられます。医療でも身元保証人がいないと入院できないケースがあります。本人の払えるだけの医療で良いという納得の上で入院、入所ができるとう良いと思います。
千種区	今後独居が増え、身元保証が必要となる方が増えると考えます。しかし、収入がある程度ないと身元保証サービスも使えません。特養の廃止も困ると思います。（厚生院は）高齢者を支えるため継続してもらいたいです。
千種区	身寄りのない方、低収入の方の入所先がなくなります！！ 厚生院以外に引き受けてくれるところはありません！！ これが現実です！！
千種区	私たちの職種（ケアマネジャー）の者は利用者さんが希望した時にすぐ利用できることを望むが、現実には難しいことと思います（建物・人材等）。
千種区	難病などで医療ケアが常時必要で低収入。老健は薬価が高く、施設の入所申し込みも拒否される方々が唯一安心して入所していただけるのが厚生院特養でした。廃止を知ってショックでした。厚生院のような施設は絶対に必要です。ぜひ地域でなくても名古屋に作って欲しいです。
東区	構成員の存在（市が運営している）ことを区役所の職員で知らない人がいる時がある。低所得で生活保護にならないケースでの緊急の受け入れ受け入れ先がない。措置入所の受け入れ先がない
北区	生活保護、身寄りのない方を特養（現存している）に入りやすくして欲しい。要介護3以上でなくても入れる施設（低料金）を増やして欲しい。
北区	今後、高齢者が増える中、縮小、廃止、年金減等ばかりで高齢者はもちろん、今働くことができている私たち世代も先々不安ばかりです。
北区	受け入れ中止に至る経緯がわかりませんが、今後ますます需要が見込まれるなか、できれば（厚生院の）受け入れ再開を希望します。
北区	北区は低所得者、生保の方が多いです。（厚生院のような施設が）地域にあると皆さん安心だと思います。
北区	身元保証を付けられないお金の無い人を救えるような対策を作って欲しい。
北区	厚生院は大規模で、従来型で、ケアが流れ作業的なシステムと聞いていた。もう少しこまやかなケアができる体制の施設に変えて運営して存続してほしい。
西区	使ったことがないので分からないが、これから使うことがあるかもしれない、（厚生院のことを）調べてみたい。
西区	特養にも入れず、介護負担が増えても低所得者が安心して入れる特養を地域に増やして欲しい。
西区	各区に厚生院のような施設を作って欲しい。

西区	厚生院特養については初めて知りました。最後のセーフネットとして残して欲しい。むしろ増やして欲しいです。
西区	年金生活がやっとやっとで家族の支援もないケース等、将来的に不安を抱えている方は多数で、いざとなったら有料老人ホームに入所できる方々は本当に少数です。将来的に安心して生活できる基盤を確立してほしいと感じます。
西区	一部のケアマネージャーしか厚生院のことを知らない。(同じ)市内でも遠いので情報があまりなく、検討に至ったことがありませんでした。
中村区	4人部屋でも良いので月7万円以下で入所できる施設を増やして欲しい。
中村区	ユニット型の特徴が増えすぎている印象を受ける。
中区	厚生院をあまり詳しく知りませんでした。現に低収入の人や身元引受人がいない人は大勢いると思います。厚生院があれば、そのような方の入所ができるので、ぜひにでも存続を望みます。
中区	厚生院は必要な施設であり、廃止には反対です。廃止する理由がわかりません。
昭和区	身元保証人がなくても名古屋市に何年以上住んでいる人は人権を尊重して入所できるようになるといい。独居老人等、働く人の給与等、環境を良くすること。
昭和区	この10年で名古屋市全体に様々なタイプの施設が増えたことで入所の選択肢が増えて厚生院以外でも入所先が見つかることが増えました。が、名古屋市厚生院にしか対応できない事例があるのも事実かと考えます。
昭和区	利用者や家族が医療と介護の両面から安心して過ごして頂ける場所が望まれます。
瑞穂区	厚生院同様の機能を持った入所施設を希望したいです。
瑞穂区	生保でなくても低収入の方が利用できる施設が欲しい。お金を出せば入れる有料老人ホームはいっぱいあります。
瑞穂区	身元保証人がいないケースが増えてきているので低収入の方でも保証サービスが容易に利用できるようなると良いと思う。
熱田区	現状を見ていただきたいと思います。
熱田区	今後医療ケアが必要な在宅に返される方が増えていくと思われる。 在宅が無理の方は有料(高額)しか選択肢がない場合が多い。 お金がないと介護力がないのに在宅に戻さざるを得ない。この実情を何とかしてほしい。
熱田区	県内の聴覚障害高齢者で手話でのコミュニケーションが必要な人に対応している居宅介護支援事業所です。かつて、聴こえず話ができないことで蔑まれ、安い賃金で雇われて、現在は障害基礎年金のみで生活している人も多くいます。さらに、優生保護法により子どもを作ることも否定されて老々世帯が多いです。厚生院は隣に名古屋市身体障害者スポーツセンターもあり、手話サークルもあります。残して欲しいです。
中川区	特養等職員に対しての処遇を改善して資質向上につなげて欲しいと思います。
中川区	厚生院特養のようなタイプが周知されていない。必要としている方は多いと思う。
中川区	特養の利用料が上がり、費用負担が増え、在宅での介護を続けざるを得ない家庭があります。 低所得者でも安心して入所できる施設があるとありがたいです。

中川区	厚生院は医療度の高い方を受け入れることのできる施設とは知っていたが、身元保証が無い方も受け入れていることは知りませんでした。もう少し周知しても良いと思う。市が運営することで人件費が抑えられないと考えます。
港区	<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所費用がどんどん高くなってきており、行き先に困るケースが増えている。 ・介護職員の賃金を上げて欲しい（人員不足で満足なケアを行えない）。
港区	廃止計画を撤廃して欲しい。名古屋市はどういうつもりか、理解に苦しむ！
港区	附属病院があり、受診もスムーズに出来ます。名古屋市民の皆様、利用者様、ご家族様が安心できる施設入所の存続をお願いいたします。
港区	厚生院特養について知らなかったので、勉強会などを開いて欲しい
南区	少子化、共働きが進んでいる中、老人は増加する。厚生院のような施設は今後もどんどん必要になっていく。廃止は反対です。
南区	低収入、生活困難事例の方の住まう場所（安心して暮らせる）の受け入れがなく、現場は大変困っています。早急に対策をして欲しいです。
守山区	低収入の方はこれからどんどん増えます。個室なんて入れません！ 民間のサービス付き高齢者住宅、住宅型有料老人ホームはグレーです。安心して入れる特養を！
守山区	低所得者が入所できる施設がないこと。周りの特養は医療ケアができない。
守山区	（厚生院は）介護がとても手厚く、退所後についてもしっかりと環境などの確認、退所後の通院について日常生活上の留意点などについても詳細にご指示をいただき、感銘しました。廃止は絶対反対です。
守山区	低所得、医療的ケアが必要な人が入れる特養を増やしてください。厚生院は絶対に廃止しないでください。
守山区	厚生院のような施設は地域に欲しいですが、実現の可能性はないと思う。
守山区	低収入で身元保証人をつけられない方の受け入れ先はもちろん必要。ケアマネとしても困ります。
守山区	痰の吸引が夜間必要な方で低所得の方、身寄りのない方などの条件が2つ3つ重なると行き先がないので、公的特養は非常にありがたいです。必要ですのでよろしく願います。
緑区	最終的に受け入れてもらえる最後の拠り所があるのは助かります。
緑区	<ul style="list-style-type: none"> ・行き場を失う利用者が増えると思うので（厚生院）廃止を中止して欲しい。 ・権利擁護センターの申し込みが半年待ちとなっており改善してほしい。
緑区	<p>厚生院も遠方なため、家族が面会に行きたくてもなかなか行けないので近くに（同様の施設を）作って欲しい。</p> <p>名古屋市内にSL（自動車）を走らせるや、その他市長の思いつきで莫大な私たちの納めた税金を無駄遣いするのではなく、このような無駄遣いをしなければ厚生院の存続はできるはず。無駄遣いは止めて福祉に使ってほしい。</p>
緑区	<p>低収入、生活保護、キーパーソン不在の利用者が施設入所が必要となる場合に対応可能な施設の整備。</p> <p>ユニット型特養等、費用面での理由で入所が不可となる生活保護利用者に対する入所可能施設条件の緩和。</p>

緑区	この8月からの食費負担増により、年金が少ない方の入所先がなく困る方が増えると思います。低所得者が入所できる施設を増やして欲しいです。
緑区	施設が利用者を探す傾向が強くなっています。医療ケアの必要な人のために医療施設は残してもよいと考えます。
緑区	在宅サービス、特に訪問系を拡充させて欲しい
名東区	名古屋市厚生院にはこれまでに何度もお世話になりました。独居で在宅生活が一時的に困難になった時は相談をすると入院受け入れをしてくださり、元気になって在宅復帰ができた利用者さんが何人もおりました。継続していただきたいです。
名東区	身寄りもなく、生保で在宅困難の方はいると思いますが、昔と比べ、その受け皿ができ、求められなくなったのでは……。もしくは、「厚生院の役割」が周知されてないのではと思います。
名東区	医療ケアが必要な方で低収入の人が入れる施設は必要と思うので残して欲しいし、増やして欲しい。
名東区	特養の数が絶対的に少なく、今は安価な住宅型有料老人ホームが増えてきています。企業努力に任せるだけではなく、公立で整備することも必要だと思います。生活保護にかからないボーダーの低所得の人たちが安心して入所できる場所を守ってほしいと感じています。
名東区	高齢夫婦の場合、年金だけで財産がない時は夫が入所すると妻が生活できない。夫が入所すると専業主婦だった（ずっと）場合は妻に残る生活費は5万円にも満たないので特例を設けて欲しい。
名東区	名古屋市からクーポンが配布される特定健康診査や特定保健指導を受ける際には万が一の時に延命治療を行うか否かの意志表示を義務付けて欲しいです。
天白区	生活保護にはならない低収入の人や、身寄りがなく認知症の方など行き先がない利用者が増えています。厚生院を廃止することは非常に困ります。
天白区	家族の形態が変わり、今後ますます身寄りがいない人、低収入の人（生活保護も受けられない人）が増えるのは確実。身元保証（サービス）も高額で頼めない人もいる。それをボランティアで何とかしてと一般人の善意に頼っている現状では限界が早く来る。現場は本当に大変で、まずは現場の声を聞いて欲しい。厚労省や役所の行政が言うことはただの理想論、絵に描いた餅、絵空事でしかない。現実はそうはいかない。
天白区	名古屋市厚生院のような施設は必要であるので存続して欲しいです。
天白区	ケアマネ含め福祉職への待遇（給与含め）向上。
天白区	身寄りがいない方が多いため、附属病院に外来、入院、歯科診療もあるのは安心です。病院まで連れて行ってくれるのは、さらにコスト削減でき、いいと思います。
天白区	一般の特養でも受け入れが困難な方を受け入れることは公的機関における大変大きな役割だと思います。
天白区	超々高齢時代（高齢化率28%～）を間もなく迎えようとしています。「地域社会」が崩壊しつつある中で地域で「孤立」して介護状態となった方々が安心してケアを受け生活できる「終の棲家」は必要だと思います。
天白区	柔軟に対応していただける施設の直営希望。